





# 要 望

高規格幹線道路等により形成される高速道路ネットワークは、流通や観光等による経済効果をもたらすほか、地域間交流を活性化させるなど、個性豊かで活力に満ちた地域社会を実現するとともに、地方創生を支える重要な社会基盤である。また、救急患者の搬送時間の短縮等により、広域救急医療を支えるほか、震災などの災害発生時には、救援、復旧活動のための緊急輸送路として使用されるなど、「命の道」としての役割を果たしている。

しかしながら、高規格幹線道路の供用率については、8割にとどまり、連続したネットワークが形成されていないため、効果が最大限に発揮されていない状況にあり、その早期整備に向けた必要財源の確保、施策の充実強化、高規格幹線道路を補完する地域高規格道路の早急な整備などが求められている。同時に、既存の高速道路の更なる機能向上と「賢く使う」取組が必要となっている。

また、災害や高速道路上での重大事故への対応として、防災・安全対策等の推進が極めて重要かつ喫緊の課題となっている。

よって、国におかれては、下記の事項につき実現を図られるよう強く要望する。

## 記

### 1. 建設促進について

- (1) 高規格幹線道路網 14,000 キロメートルの早期完成に向けた明確な方向性を示すとともに、財源の確保に万全を期すこと。また、高規格幹線道路と一体となって高速交通体系を成す地域高規格道路の整備についても所要の財源を確保すること。
- (2) ミッシングリンク解消及び暫定 2 車線区間の 4 車線化の速やかな実現を図ること。
- (3) 国土開発幹線自動車道建設会議及び社会資本整備審議会の委員に地方代表を積極的に起用するなど、高速道路建設に地方の意見や実情をより反映することが可能となる方策を講じること。

### 2. 高速道路ネットワークの更なる機能向上と最適利用の推進について

- (1) 高速道路を中心とした今ある道路の運用改善や小規模な改良等により、道路ネットワーク全体としてその機能を時間的・空間的に最大限発揮させること。
- (2) インターチェンジ I C 及びスマート インターチェンジ I C の一層の整備促進を図ること。  
なお、それら インターチェンジ I C の整備にあたっては、地域の要

望を踏まえるとともに、取付道路等周辺交通環境の整備にも十分配慮すること。

- (3) サービスエリア パーキングエリア S A・P A の一層の整備促進とサービスの向上を図ること。また、サービスエリア パーキングエリア S A・P A を活用した地域活性化など地域の拠点づくりへの支援を行うこと。

### 3. 防災・安全対策等の推進について

- (1) 中央自動車道笹子トンネル天井板落下事故を踏まえ、トンネル・橋梁などの老朽化するインフラの適時適切な維持管理・更新が実施されるよう、十分な財源を確保するとともに、重大事故の再発防止に向けた安全対策を強力に推進すること。
- (2) 高速道路跨道橋について、適切な維持管理が可能となるよう、早急に対策を講じること。
- (3) 高速道路上及びその周辺で発生している高速ツアーバス事故等を踏まえ、重大事故を防止するための万全の対策を講じること。

なお、暫定2車線区間については、車線逸脱防止など、一層の安全対策のほか、追い越し車線の設置や3車線運用など、道路機能強化の取組を推進すること。

事故発生時における迅速な対応のため、関係機関との連携体制を強化するとともに、救急業務を担う沿線市町村

に対する支援の充実強化を図ること。

- (4) 災害時の緊急輸送道路の機能確保のため、高速道路ネットワークの耐震強化を図ること。
- (5) 災害時に高速道路とそれを取り巻く空間を計画的かつ積極的に活用する取組を支援するなど、高速道路を利用した防災対策の充実強化を図ること。
- (6) 災害対応及び救急救命活動等の迅速化のため、高速道路を通行する緊急車両が出入可能な施設の整備を推進すること。
- (7) 渋滞の解消・緩和や安全性の向上等に資する、最先端の情報通信技術を用いたITS（高度道路交通システム）に関する研究開発を推進するとともに、既存技術の普及促進を図ること。

#### 4. 料金制度について

- (1) 高速道路料金制度については、料金体系の再編による発現効果や課題等も検証しながら、適時適切な見直し検討を行い、公正妥当な制度の実現を図ること。  
また、利用率向上に向けた努力を行うことにより、安定的でシンプルな料金制度を構築すること。
- (2) 高速道路の更新費用等と償還の扱いについては、債務の確実な償還と将来の更新等に対応可能なものとする。

